

市の考え方及び対応

全国で高齢者による運転事故が社会問題化する中、本市においても平成30年5月に高齢者ドライバーによる痛ましい事故が発生しており、このような交通事故の再発防止や、そのための高齢者の免許証返納促進は、市としても重要な課題であると認識しております。このたびは、この状況の改善に向け、「高齢者に市内公共交通の無料化というインセンティブを付与することで、自家用車から公共交通機関への移行を促進する」という提案をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

本市としては、高齢者の運転免許証返納を促進するには、公共交通にかかる費用の軽減以外のアプローチが必要なのではないかと思料しています。自家用車の維持には、条件によって数字は大きく変動しますが、軽自動車であっても年間数十万円の費用を要するとされています。その維持費用をもってすれば、公共交通機関の利用等にかかる移動費用に充てることは十分可能であると考えられます。つまり、費用面よりも別に大きな課題があることが想定されます。例えば、自家用車は任意に移動できる手段であること、運転に必要な認知機能が加齢とともに低下していることを認識できていないことなどが理由なのではないかと推察しているところです。平成27年に警察庁が行った「運転免許証の自主返納に関するアンケート調査結果」によれば、「自主返納をしようと思ったことがある運転継続者の約7割は、返納をためらう理由として『車がないと生活が不便なこと』と回答した」とあります。

また、昨今の財政状況を踏まえると、このたびの提案には経費的な課題もあると考えられます。提案書では、「バス会社の負担はそれほど大きくはない」とされていますが、必要経費を概算で算出したところ、対象者を80歳以上の方と仮定しても、現時点で年間2億円以上はかかる見込みであり、高齢化の影響を考えるとその額は上昇し続けることが予想されます。バス事業者が厳しい経営環境の中でその負担に対応することは難しいと考えられ、仮に、市がその経費を負担するとしても、2億円規模の財源を新たに生み出すためには、他の事業に多大な影響を及ぼすこととなります。

その他、今回の提案は次のような点にも課題がみられます。

まず、対象者を「80歳以上の免許証返納者または免許非保持者」としている点については、80歳という年齢で線引きする合理的な理由が考えづらく、一つの基準と捉えるには難しいこととともに、「免許証返納者または免許非保持者」という要件を現実的に確認する手法が非常に困難であると考えられます。

次に、対象とする路線を「茅ヶ崎駅発着の定期バス路線と市内循環バスのみ」としている点については、他の路線バスを省く理由が明確とはいえず、公平性の観点にも配慮が必要であると考えます。

さらに、「かなちゃん手形」が効果的とは思えない理由や無料化が最適であることについても理由が明確ではありません。

これらを踏まえ、残念ながら今回の提案を採用することは難しいと判断しました。

しかしながら、冒頭でも述べたとおり、高齢者の運転免許証返納促進と交通事故防止は、対応すべき課題であると認識しており、これまでも種々の取組を実施してきましたので、その一部を紹介します。

まず、茅ヶ崎市交通安全対策協議会（市、茅ヶ崎警察署等の関係機関で構成）では65歳以上の高齢者を対象としたシルバーセーフティドライビングスクールを主催しており、実車講習等を通して自らの運転を見直す機会としているほか、高齢者を対象とした交通安全教室で、認知機能の低下を認識してもらえるような仕組みづくりも進めています。これらの講習会・教室や市ホームページでは、運転免許証の自主返納制度と神奈川県警察が推進する自主返納サポート制度の周知も行っており、市内の運転免許証の自主返納者は増加傾向にあります。

さらに、平成31年4月15日号の広報ちがさきで特集記事「防ごう高齢者の事故 交通安全を再確認」を掲載し、免許の自主返納の啓発も実施したところです。

より多くの市民の皆さまに公共交通を利用していただけるよう、「茅ヶ崎市総合交通プラン」と「茅ヶ崎市乗合交通整備計画」に基づき、交通空白地区を解消するための路線バスの充実やコミュニティバスと予約型乗合バスの運行をしてきました。

また、自家用車に代わる手段の一つとしては、自転車の利用も考えられます。自転車は、健康面や環境面にも貢献でき、市では「第2次ちがさき自転車プラン」を策定して自転車の利用を推進しています。運転免許証をお持ちの方にも、交通ルールを遵守しながら日ごろより自転車に慣れ親しんでいただくことで、返納後の移動手段の選択肢の一つとなれば幸いです。

今後におきましては、今まで以上に高齢者の運転免許証の返納に関する周知啓発を行うとともに、茅ヶ崎警察署等の関係機関との連携を図りながら、引き続き交通事故の減少に向けて取り組んでいきます。